南富良野短歌会

そんなにも向きになるなと我の背をまろく押し行く春のそよ風　大野孝子

さざ波の立ちゐむ湖を渡る風かすかな春の匂ひ運びて　橋見さえ子

帰りきて友の急逝耳にする一位を揺らす夕風の音　鈴木文代

石蕗の黄色い小花の揺れているとり寄せし鉢に日々声かける　山内千代

ふるさとの五十年会わぬ少年が文をよこせりわれ少女となりぬ　久保マサ子

匂うかにみどり清しく水仙の日に日に伸びてつぼみふくらむ　山田千代

軽く背を打たるる程の風現れて猫柳の芽の春を促す　三宅スエ

ふたたびの学舎なりし千里大学なつかしき顔みな若わかし　鍛治場渉子

春光に心包まれ遠山の影は静けし紫紺うすらぐ　後藤敏江

北の果てへ行く渡り鳥かひとときを湖に漂ひ何を夢見る　阿部巖

望郷の思いは厚く父母亡くも八十路になりても忘るることなし　佐藤すみゑ

飽くること知らぬごときに保育所の幼ら遊ぶ春光纏い　菊池仁子

義母逝きてはや十七回忌勤め終えうからと眺むエメラルドの空　小林吉枝

歳積みて千里大学専修生学ぶを楽しみ農に勤しむ　津田みね

野のすみれ小さな花を咲かせおり訪う人あって心和ます　大居貞子

年毎に萎える我が妻健やかに育つ孫見て嬉しさ募らす　松本清

雪の舞う真冬の夜の厳しさを耐えて春待つ森の梟　相川敏治

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会へ

○幾寅田口文男様　十万円

○金山阿部巖様　五万円

一味園・からまつ園へ

○幾寅山本商店様

○幾寅けん三のことば館様

○幾寅高橋啓子様

○金山山田利夫様

○富良野市福寿司様

○富良野市仁原俊洋様

○旭川市旭川家政婦紹介所様

○音更町緑陽台歯科診療所様

○音更町小牟礼峰行様

○浦幌町大野健一様

○札幌市西脇義弘様

○雄武町原田徳男様

南富良野町史を無料配付しています

開基百年を記念して発行された町史は、開拓から現代までのまちの移り変わりをまとめた貴重な記録です。

平成３年に作成し、同年５月に町内在住の各世帯などに配付しましたが、以後に転入された方や新しく世帯を設けられた方などに無料で配布していますので、ご希望の方はお申し出ください。

● ご連絡先 ●　企画商工課（企画調整係）　☎ 52-2115